

8月保健ガイド

母子保健・予防接種

☎ 子育て家庭課 ☎56-0210

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	4日(月) 10:00集合 21日(木) 13:30集合	妊婦
予パパママ教室(1回目) ※定員9組	19日(火) 10:00開始～11:00終了予定	主に妊娠6か月頃までの初妊婦とそのパートナー
予パパママ教室(2回目) ※定員9組	23日(土) 9:15受付～11:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は子ども家庭課へ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3～4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者
妊産婦産科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください	妊婦と産後1年未満の産婦
予ロタウイルス	対 1価ワクチン 出生6～24週 5価ワクチン 出生6～32週	
予B型肝炎	対 生後1歳未満	
予ヒブ、小児用肺炎球菌	対 生後2～60月に至るまで	
予4種混合、5種混合	対 生後2～90月未満	
予BCG	対 生後1歳未満	
予麻しん・風しん混合(MR)	対 第1期 生後12～24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予水痘	対 生後12～36月未満	
予日本脳炎	対 1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予2種混合	対 11～13歳未満	
予HPV 2価・4価・9価	対 小学6年生～高校1年生の女子 ※1997～2008年度生まれで、2022年4月1日～2025年3月31日に1回以上接種し、接種完了していない女子(キャッチアップ接種経過措置)	

成人保健・予防接種

☎ 保険医療課 ☎56-0821 健康推進課 ☎63-3300

予特定健康診査 がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)	1日(金)、7日(木)、27日(水)、29日(金)	市国民健康保険加入者で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予集団がん検診 (肺・胃・大腸・前立腺)	18日(月)、22日(金)	市国民健康保険加入者以外で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予個別特定健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください。※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	市国民健康保険加入者で40～74歳の人 後期高齢者医療制度加入者 40歳以上の人(検診によって制限あり)
予個別がん検診※ (肺・胃・大腸・前立腺)	2月28日までに市内委託医療機関で受診してください。	西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人可)子宮頸がん20歳以上、乳がん40歳以上
予個別子宮頸がん・乳がん検診	1月31日までに市内委託歯科医院で受診してください。	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、76歳、80歳の人
予歯周病検診		
予帯状疱疹	対 2025年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳となる人、100歳以上の人または60～64歳のヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある人	
予高齢者肺炎球菌	対 65歳の人または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある人	

<任意予防接種助成> 風しんワクチン、帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成します(対象者に限る)。

その他お知らせ

納期限(9月1日)

税 目	納 期	問 合 先
市・県民税	第2期	収納課
国民健康保険税	第2期	☎56-0610
介護保険料	第3期	長寿課 ☎56-0613
後期高齢者医療保険料	第2期	保険医療課 ☎56-0617

□座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、前日までに残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所

☎0561-73-7555

診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター

☎0561-82-1133

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問い合わせください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。

ドクターからあなたへ

4月から带状疱疹ワクチンの定期接種が始まりました。今年度65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上になる人が対象です。また、50～64歳の方は任意接種の対象となり、いずれも市の補助を受けることができます。

带状疱疹は50歳以上で増え、70歳代に最も多く発症します。治った後もピリピリとした痛みが長引くことがあるため、ワクチンでの予防が望ましいとされます。過去に発症したことがある人もくり返すことがあるため、ワクチン接種は必要です。ワクチンには2種類あり、自分で選ぶことができます。

①生ワクチン(ビケン)は自己負担が安価であり1回接種(皮下注射)で済みますが、発症予防効果は6割程度で持続期

带状疱疹ワクチン

佐光内科 横山智絵子

間は5年程度、いずれも不活化ワクチンに劣ります。市の補助がない場合、8,000円前後かかるワクチンです。

②不活化ワクチン(シングリックス)は2か月間空けて2回の接種が必要です。筋肉注射であり、局所の痛み・発赤等の副反応は生ワクチンに比べ起こりやすいです。自己負担は生ワクチンに比べ高額ですが、発症予防効果は9割以上と高く、10年以上持続します。市の補助がない場合、44,000円前後(2回分)かかるワクチンです。

いずれも市指定医療機関で予約の上接種が可能です。詳細は健康推進課(63-3300)に問合せください。



インフォメーション

【精神科医師による相談】 時 9月2日(火)10:00～正午 場 瀬戸保健所豊明保健分室 ☎ 瀬戸保健所健康支援課 ☎0561-82-2158